新島の火山活動解説資料（令和８年 10 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図１）

式根監視カメラ（丹後山の西南西約４km）による観測では、噴気は認められません。

・地震や微動の発生状況（図２－①②、図３）

地震活動は低調に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図２－③④、図４）

地殻変動観測では、火山活動によるとみられる特段の変化は認められません。



図１　新島　丹後山周辺の状況（10 月 17 日、式根監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php
次回の火山活動解説資料（令和８年 11 月分）は令和８年 12 月８日に発表する予定です。
本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokuji.html
この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、東京都及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。
資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『基盤地図情報』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50ｍメッシュ（標高）』を使用しています。

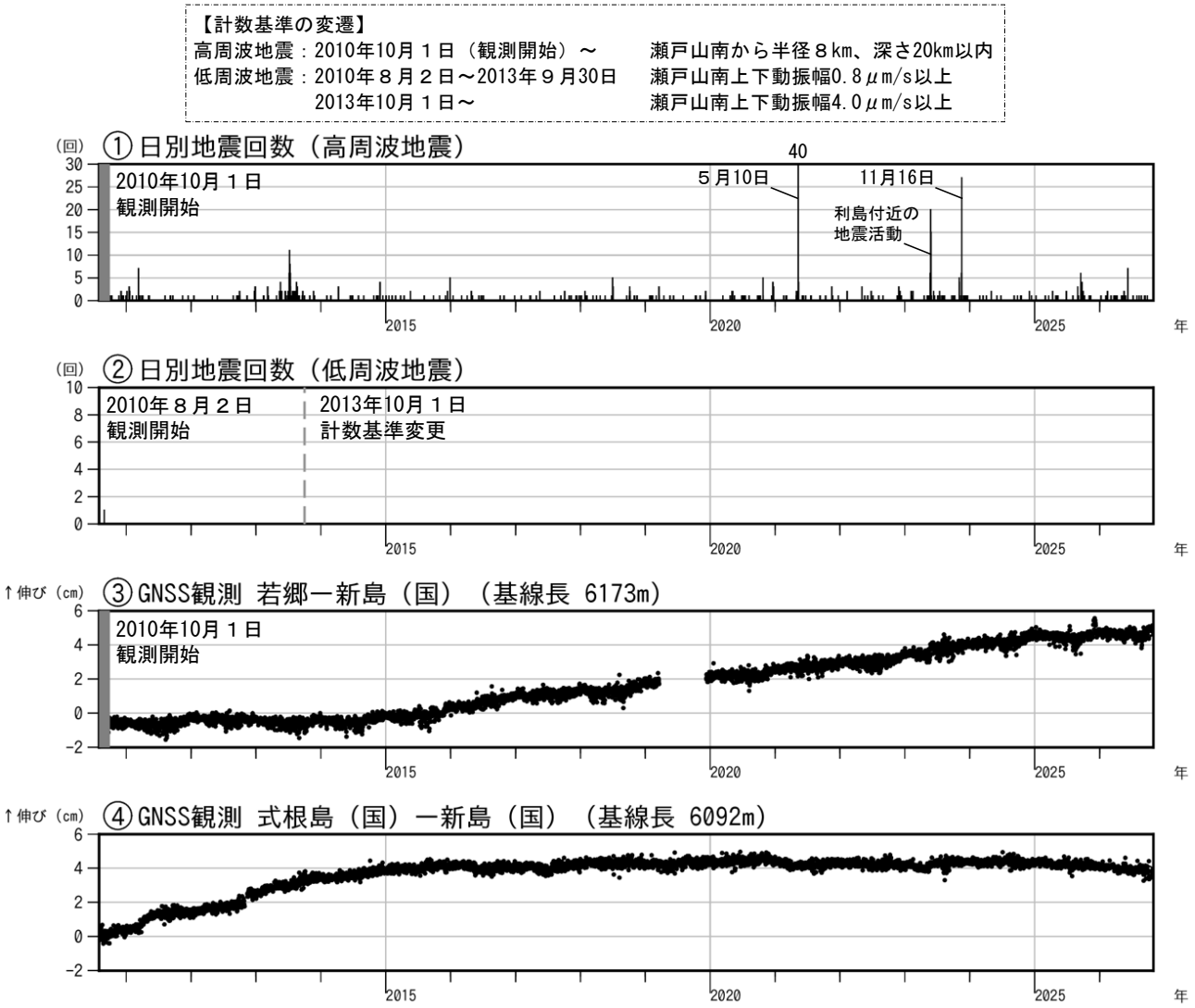


図２　新島　火山活動経過図(2010 年８月２日～2026 年 10 月 31 日)

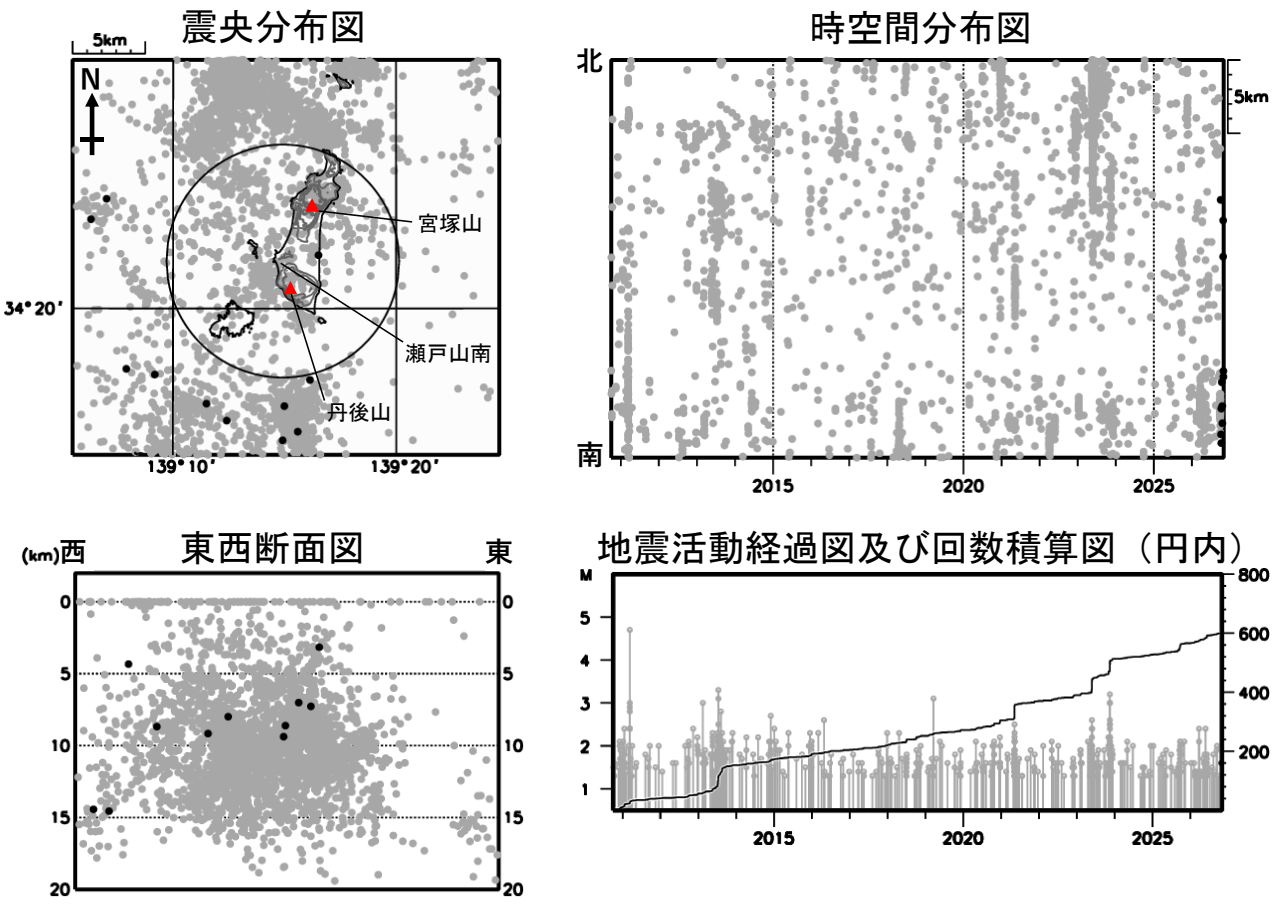
①、③：灰色部分は観測期間外を示します。

③、④：図４の GNSS 基線③、④に対応しています。また、グラフの空白部分は欠測を示します。

（国）：国土地理院

・地震活動は低調に経過しました。

・GNSS 連続観測では、火山活動によるとみられる特段の変化は認められません。



●：2010 年 10 月１日～2026 年９月 30 日　●：2026 年 10 月１日～10 月 31 日

図３　新島　広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2010 年 10 月１日～2026 年 10 月 31 日）

広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。なお、2020 年９月以降については、地震観測点の標高を考慮する等、震源決定の手法を変更しています。

Ｍ（マグニチュード）は地震の規模を表し、M1.3 以上の地震を示しています。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

計数対象（瀬戸山南から半径約８km、深さ約 20km 以内）以外の地震が含まれるため、図２－①の日別地震回数（高周波地震）とは異なります。

震央分布図中の円は火山性地震の回数の計数対象（瀬戸山南から半径８km、深さ 20km 以内）の範囲を示しています。

・地震活動は低調に経過しました。

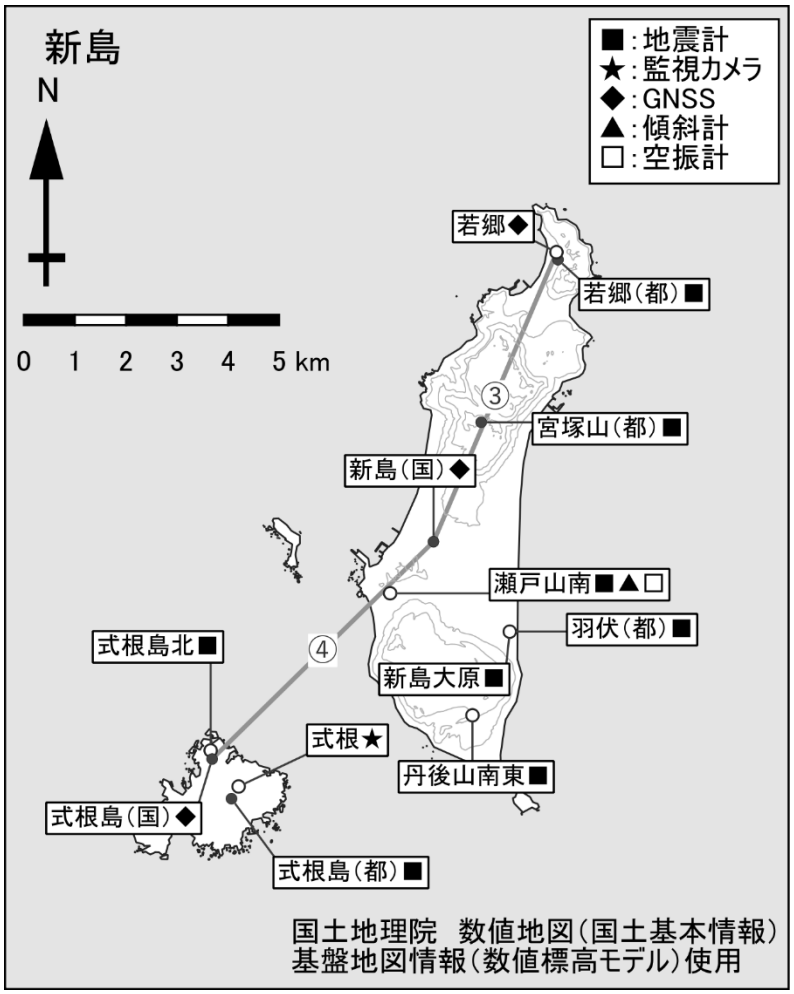


図４　新島　観測点配置図

GNSS 基線③、④は図２の③、④に対応しています。

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院　（都）：東京都